



2022年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月7日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL https://www.kewpie.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高宮 満
 問合せ先責任者 (役職名) 経営推進本部長 (氏名) 北川 岳史 TEL 03-3486-3331
 四半期報告書提出予定日 2022年10月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年11月期第3四半期の連結業績（2021年12月1日～2022年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年11月期第3四半期	318,214	4.7	21,407	△2.3	22,945	△1.9	14,541	0.1
2021年11月期第3四半期	303,851	△23.6	21,914	7.3	23,394	11.7	14,524	32.5

(注) 包括利益 2022年11月期第3四半期 25,149百万円 (23.3%) 2021年11月期第3四半期 20,391百万円 (49.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年11月期第3四半期	104.61	—
2021年11月期第3四半期	103.00	—

(注) 2021年11月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年11月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年11月期第3四半期	394,824	287,590	66.0
2021年11月期	381,003	269,301	64.5

(参考) 自己資本 2022年11月期第3四半期 260,707百万円 2021年11月期 245,640百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年11月期	—	20.00	—	27.00	47.00
2022年11月期	—	20.00	—	—	—
2022年11月期（予想）	—	—	—	27.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2022年11月期の連結業績予想（2021年12月1日～2022年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	430,000	5.6	26,000	△7.0	27,700	△6.7	15,700	△12.8	112.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年11月期3Q	141,500,000 株	2021年11月期	141,500,000 株
2022年11月期3Q	2,495,723 株	2021年11月期	2,495,090 株
2022年11月期3Q	139,004,505 株	2021年11月期3Q	141,018,980 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(企業結合等関係)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループは、国際的な穀物・エネルギー相場の上昇や急速な円安進行など事業を取り巻く環境が大きく変化しています。このような状況の中、国内では市場担当制を活かしお客様の多様化するニーズに対応するとともに原料相場に左右されない強い体質への転換に取り組んでいます。海外では、中国・東南アジア・北米を中心に、それぞれの地域の食文化への浸透を加速させ、成長ドライバーとして拡大を進めています。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、海外での売上伸長に加え、業務用での外食需要減少影響が前年度より回復したことにより増収となりました。営業利益は、売上増加や価格改定効果があったものの主原料高騰等による影響を受け減益となりました。経常利益は営業利益の減少により減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は関係会社株式売却益の増加などにより増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)	当第3四半期 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
売上高	303,851	318,214	14,363	4.7%
営業利益	21,914	21,407	△507	△2.3%
経常利益	23,394	22,945	△449	△1.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14,524	14,541	17	0.1%

(注) 2021年11月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)	当第3四半期 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	130,150	130,480	330	0.3%
業務用	110,979	116,101	5,122	4.6%
海外	39,296	47,437	8,141	20.7%
フルーツ ソリューション	12,937	12,537	△400	△3.1%
ファインケミカル	6,481	7,621	1,140	17.6%
共通	4,006	4,035	29	0.7%
合計	303,851	318,214	14,363	4.7%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)	当第3四半期 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	13,986	11,017	△2,969	△21.2%
業務用	4,109	5,635	1,526	37.1%
海外	5,845	6,754	909	15.6%
フルーツ ソリューション	615	318	△297	△48.3%
ファインケミカル	564	1,151	587	104.1%
共通	991	967	△24	△2.4%
全社費用	△4,199	△4,438	△239	—
合計	21,914	21,407	△507	△2.3%

<市販用>

- ・調味料は価格改定の影響により需要が減少したものの、惣菜が堅調に推移し増収
- ・主原料高騰等による影響を受け減益

<業務用>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による外食需要減少影響が前年度より回復し増収
- ・主原料高騰等による影響を受けたものの、価格改定効果や付加価値品の伸長により増益

<海外>

- ・東南アジアや北米が好調に推移し増収
- ・主原料高騰による影響を受けたものの、売上増加により増益

<フルーツ ソリューション>

- ・家庭用ジャム・スプレッドの価格改定と需要喚起策を進めたものの、前年の内食需要の反動もあり減収減益

<ファインケミカル>

- ・ヒアルロン酸の原料販売や通信販売が好調に推移し増収増益

<共通>

- ・外部向け原料販売の売上増加などにより増収となったが、販管費の増加により減益

(2) 財政状態に関する説明

◇ 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、3,948億24百万円と前連結会計年度末に比べ138億21百万円増加
主に受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品、建設仮勘定の増加による
- ・負債は、1,072億33百万円と前連結会計年度末に比べ44億69百万円減少
主に支払手形及び買掛金の増加、短期借入金の減少による
- ・純資産は、2,875億90百万円と前連結会計年度末に比べ182億89百万円増加
主に利益剰余金、為替換算調整勘定、非支配株主持分の増加による

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年7月7日に公表した連結業績および配当予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,343	57,758
受取手形及び売掛金	56,875	61,251
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	18,277	19,966
仕掛品	1,369	1,264
原材料及び貯蔵品	10,419	14,064
その他	2,303	3,059
貸倒引当金	△137	△110
流動資産合計	157,451	167,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	157,939	160,535
減価償却累計額	△93,161	△96,047
建物及び構築物（純額）	64,777	64,487
機械装置及び運搬具	149,308	151,367
減価償却累計額	△106,897	△110,490
機械装置及び運搬具（純額）	42,411	40,877
土地	30,850	30,966
建設仮勘定	2,488	4,487
その他	18,060	18,663
減価償却累計額	△12,054	△12,901
その他（純額）	6,005	5,761
有形固定資産合計	146,532	146,581
無形固定資産		
のれん	552	410
その他	12,751	14,325
無形固定資産合計	13,303	14,735
投資その他の資産		
投資有価証券	43,629	44,889
退職給付に係る資産	11,128	12,275
その他	9,078	9,205
貸倒引当金	△120	△119
投資その他の資産合計	63,715	66,251
固定資産合計	223,552	227,568
資産合計	381,003	394,824

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,015	32,454
短期借入金	11,591	2,578
未払法人税等	4,182	1,916
賞与引当金	1,442	4,944
その他の引当金	86	118
その他	25,881	24,337
流動負債合計	71,199	66,350
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	16,356	16,142
退職給付に係る負債	2,750	2,899
資産除去債務	221	225
その他	11,173	11,615
固定負債合計	40,502	40,882
負債合計	111,702	107,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	28,632	28,632
利益剰余金	194,015	202,023
自己株式	△5,838	△5,840
株主資本合計	240,913	248,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,690	9,100
繰延ヘッジ損益	8	44
為替換算調整勘定	△962	5,121
退職給付に係る調整累計額	△3,008	△2,480
その他の包括利益累計額合計	4,727	11,786
非支配株主持分	23,660	26,883
純資産合計	269,301	287,590
負債純資産合計	381,003	394,824

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)
売上高	303,851	318,214
売上原価	210,632	223,354
売上総利益	93,218	94,860
販売費及び一般管理費	71,304	73,452
営業利益	21,914	21,407
営業外収益		
受取利息	90	171
受取配当金	393	441
持分法による投資利益	770	773
その他	798	638
営業外収益合計	2,053	2,024
営業外費用		
支払利息	181	175
その他	392	310
営業外費用合計	573	486
経常利益	23,394	22,945
特別利益		
関係会社株式売却益	291	1,288
投資有価証券売却益	1	255
固定資産売却益	442	9
その他	43	0
特別利益合計	779	1,552
特別損失		
固定資産除却損	421	685
その他	104	142
特別損失合計	526	827
税金等調整前四半期純利益	23,647	23,670
法人税等	7,142	7,300
四半期純利益	16,504	16,370
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,980	1,829
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,524	14,541

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)
四半期純利益	16,504	16,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	548	376
繰延ヘッジ損益	4	31
為替換算調整勘定	2,634	7,252
退職給付に係る調整額	437	558
持分法適用会社に対する持分相当額	261	561
その他の包括利益合計	3,886	8,778
四半期包括利益	20,391	25,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,750	21,600
非支配株主に係る四半期包括利益	2,640	3,548

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しています。

当社グループでは、商品または製品の国内販売において「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、出荷時から当該商品または製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高に与える影響は軽微であり、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動負債の引当金科目に表示していた「売上割戻引当金」は、第1四半期連結会計期間から返金負債として流動負債の「その他」に含めて表示しています。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

（企業結合等関係）

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2020年11月2日に行われた当社の連結子会社（現持分法適用関連会社）である株式会社キューソー流通システムとKIAT ANANDA グループ（PT Kiat Ananda Cold Storage、PT Ananda Solusindo、PT Manggala Kiat Ananda および PT Trans Kontainer Solusindo）の企業結合について、前々連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度に確定しました。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、前連結会計年度の連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されています。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響は軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2020年12月1日 至 2021年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高									
外部顧客への 売上高	130,150	110,979	39,296	12,937	6,481	4,006	303,851	—	303,851
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	557	3,830	714	179	327	8,019	13,629	△13,629	—
計	130,708	114,809	40,010	13,116	6,809	12,025	317,480	△13,629	303,851
セグメント利益	13,986	4,109	5,845	615	564	991	26,114	△4,199	21,914

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,199百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2021年12月1日 至 2022年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	130,480	116,101	47,437	12,537	7,621	4,035	318,214	—	318,214
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	130,480	116,101	47,437	12,537	7,621	4,035	318,214	—	318,214
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	600	3,696	1,546	151	255	8,564	14,814	△14,814	—
計	131,081	119,797	48,983	12,689	7,876	12,599	333,028	△14,814	318,214
セグメント利益	11,017	5,635	6,754	318	1,151	967	25,845	△4,438	21,407

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,438百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用しています。これによる各報告セグメントへの影響は軽微です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。